（日刊）明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可　日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年六月二十四日（木曜日）第百四十三號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●偶感

勿 [illegible]

▲豫報の如く曾禰新統監には二十二日夜入京いたし候雄姿颯爽八道を睥睨するの概ありとは爰等で使ふ形容辭に候も那の容貌では少しく形容辭に當て箝まり兼ね候、併し顔と心は正反對のもの胸中にては飽迄も英姿颯爽八道を睥睨するの概を有し居ることゝ存じ候、されど謹むべきは伊藤前統監の如く餘りに廣言を吐かぬことに候、骨を長白山頭に埋む約束なりし公は前言を食みて骸骨を乞ひ何うやら疊の上にて往生いたさんとする模樣に候、南山の夏木立、さても見事前統監旗を連稱いたせるやういたしたきものに候

▲前副大統領フエアーバンクス氏は二十二日退京し北京に向はれ候、曩には倫敦タイムスのチロル、モリソン兩記者來京し親しく韓官民に交驩し歡待の厚志を謝しつゝ歸國いたし候が何にさま此等の珍客は滯京日數短かき爲めトツクリと諸問題に對する所感を聞き又は意見を述ぶること出來ず候、殊に氏の如きは名に於て識に於て學に於て卓絶すると共に又人格に於て卓絶する人に候へば余輩は飽迄も氏に就て學び氏に就て知り氏に就て悟るの必要有之候而も蹉跎千里の遊程余輩は海陸無事氏の歸國を祈り候

▲京城日本人商業會議所半數改選期日はいよ／＼目睫の間に迫り來り候、會議員二十四名半數といへば言ふ迄もなく十二名に候而して此等十二名の候補者は既に競爭場裡に現はれ銘々中原の鹿を得んとして競爭いたし居り候、唯余輩は競爭の方法が如何にあれ其の人格に於て信望に於て、常識に於て圓滿無碍なる人物を撰ばれんことを祈り候、而も見渡す所候補者の顔振れは何れも申し分なき人物にて余輩の理想に相叶ひ居るぞ洵に以て喜ばしく候、

▲鐵道管理局の大淘汰はソロ／＼と發表され第一着手として頭株の事務官、事務官補、技師、通譯の十九名淘汰され以下屬官等は追々と處理さるゝなるべく候、而して余輩は敢て愛に手を振り職して死屍に鞭つが如き酷はせざるも右十九名の高等官の中には敢てなしたるもの有之やうに聞き及び候が今回の淘汰に當りて今更らながら因果應報の覿面なるを感じ候、本人の懺悔もさる事ながら大屋長官の儼正なるを稱せざるを得ず候、

●補助指定普通學校

▲補助指定普通學校の性質　現在の官公立普通學校は政府が普通教育の模範を示さんが爲め光武十年學制改革以來逐次設營したるものにして其數全國を通じて未だ六十校を出でず普通教育の普及は韓國現時の急務にして政府の專念努力する所なりと雖ども國家財政の現狀は政府直接の事業として一時に多數の增設を容さゞるものあり是を以て學部は全國私立學校中乙種公立普通學校中より三十校を選定して國庫補助の下に普通學校の經營を爲さしめ模範教育普施設に擴張を加へたり是れ補助指定普通學校を設け普通教育の代用機關たらしむる所以なり

▲補助の方法　教育の改善に最も必要なるは教員に適材を得るに存し校舍其他の設備は抑も第二の問題なり故に學部は補助の目的を設備に加へずして教員に加へ學部が任命する日本人教員一名韓人教員一名を差遣し此等教員の俸給は全部國庫に於て支給するを以て補助の限度となし右以外の教員俸給は勿論學校の維持方法等總て當該學校の經營に一任したり而して此等教員は公立普通學校訓導として任命し補助普通學校に在勤を命したるものにして身分上の監督は總て學部に於て之を掌握す右教員の中日本人は新に傭聘したるものと轉任を命じたるものとあり何れも訓導兼教諭として教授管理の衝に當らしめ韓國人は今回官立漢城師範學校の卒業生を採用したり

▲補助指定普通學校の條件　補助指定普通學校として學部が採用したる選定の條件は大要左の如し

一、學校の組織を普通學校に變更すること　補助の趣意官公立普通學校と共に普通教育の模範を普く示さんとするに在るを以て普通學校令に依りて經營する普通學校たるを要するは勿論なり故に當該學校にして未だ普通學校の組織を爲さゞるものは之を變更し同令に依り學部の認可を受けざるべからず

二、適當なる位置に存在すること　學校の位置は模範教育の効力上多大なる關係を有するものなるを以て公立普通學校を各道に設置したる場合に際しても周到なる注意と調査とを經て之を選定したり同一の理由により今回補助指定普通學校の位置選定に當りても交通の頻繁と道内に於ける位地の如何を顧み普通教育の模範を發揮するに至るべき地點を選擇したり

佐倉宗吾

（百十四）　眞龍齋貞水講演

愈よ池永、中島の兩人は、上の仰せなれば據ろなく、氣の毒ながら、宗五郎の妻子を捕縛に向ふことに成りました、所が鹿島口の御牢内に入つて居ます宗五郎は　宗「もう俺だけは御處刑になるであらうが、妻子は追放位で御免しになるであらう、追放になれば、安治喜の島屋源兵衛の許へ立退いて相談すれば、又坂本の井筒屋五郎兵衛殿が相談相手に成つて、何どかしてくれる事であらう、此身は固より覺悟の前なれば如何な御處刑になつても構はぬが、妻子の所は御助け下さるであらう」と毎日のやうに牢舍の中にて、苦しき中にも聊か慰めて居りました、然るに中島宗四郎、池永五郎左衛門の兩名が、公津新田木内宗五郎の宅へ、妻子の者を捕方に向ひました、其樣な事は一向存じませぬから、宗五郎の養母妻のれ美禰、子息の宗甲、喜六、三之助が、頻りに話をして居る總領の宗甲が　宗「お母樣」　母「ハイ　宗「御父樣は何日頃御歸りになりませう、母親は此程宗五郎が、鹿島口の御牢内へ送られた事は仄に聞いて、毎日毎晩心配でござりますが子供に尋ねられ　母「御父樣はもう程なく御戻りになりますから溫和しくして御居なさい」弟の喜六が　喜「兄イさん昨夜御父樣が自家へ御歸りになつた夢を見ました」云はれる度毎に、一室の内に居りました宗五郎の養母、他所ながら之を聞いて、ハラ／＼落涙をして居る所へ御役人が出張になりまして　役「斯りや宗五郎妻、並に養母は在宿いたして居るか」　れ美禰はギックリ胸に應へましたが　美「誰方樣でございませうか　役「此程宗五郎儀に就いては大公儀へ對し、御直訴に及び、それが爲め御當家に於て、六萬石を御取上げに相成り、國方役人は、それ／＼御處刑に相成つたが、それと云ふのも皆な、宗五郎一人の所存から出たる事、依つて此程宗五郎は、御國表へ御送りに相成り、近々御處刑あるに就いては、其方等、妻子の者にも、御尋ねの廉これ有り、今日捕縛に參つた、神妙に御繩を頂戴いたせ、不埒者奴がッ」と中島が怒鳴り付けると、池永五郎左衛門が　五「御控へ召され中島氏　宗「何故あつて池永殿には左樣に仰せられまするが、宗五郎のためには、拙者の叔父は重き處刑を蒙りたるのみならず、御殿樣の御家も、彼のため瑕瑾つけられたる次第、その宗五郎の妻子でござるに依つて、斯樣に申し渡すのでござる　五「御控へ召され、例へば其許の叔父上が、御處刑に相成らうと宗五郎は兎に角、この妻子の者は一向知る所でない、況して老母や女子供でござれば些と物やはらかに仰せられねど申すので、別に仔細はないのでござる　宗「是はしたり近頃以て池永殿御一言とも承らぬ、萬が一手緩き事を致し、此宗五郎妻子の者が、逃げ延びました時には、如何でござる、容易ならざる罪人ではござらぬか　五「是はしたり、此御言葉は些と異うかと存ずる、高の知れたる女子供、逃げやうとて逃しは致さぬ又萬が一、逃げ亡せたる時は、御貴殿へは迷惑は掛けぬ、斯く申す池永が、身に引受け切腹仕り、申し譯いたすでござらう御貴殿の職は借り申さぬ、些と軟らかに申されよ　宗「然らば池永殿の仰せには、否々のやうなる小役人の者は、池永殿には及ばぬと申すのでござるか　五「まだ／＼御自分などは御修業が足らぬと云ふものでござる、ナニ、是しきなる女小供に向ひ、荒々しき御取扱には及ぶまい……コレ宗五郎妻子の者、此程宗五郎、江戸表に於て御直訴に及びし廉を以て、其方等も一通り御取調べあるに依つて、今日捕縛に向ひたるぞよ、併しなから此後、其方共の申し開きに由つては歸宅の儀も御許しあるであらうから、一時は上の御法、御繩を受る次第なれば、左樣覺悟いたせよ」

●豫約延期と申込者

覆面を取去れ
（曾禰新統監に望む）

曾禰統監は副統監たりし時に於て北韓及南韓沿岸を視察したる際百濟の舊都に入り其遺蹟たると今尚ほ日韓人間に意志の疏通せざるを見て感慨を深ふせり。歸來ジャッパン、アドバータイザー京城通信員に其感想を語て曰く、百濟地方の韓人は往昔日本との關係則ち百濟王國の歴史は今尚ほ日韓人相互間に溝渠を造りて互に心に覆面しつゝ隱然敵視し居れり、之が爲に意志の疏通を缺きて相互の不利益少なからずと云々と、然り此觀察は誤らず、然れども此覆面は敢て百濟の古都のみに非ず、全韓國に亘りて覆面しつゝあり、殊に京城に於て最も甚だしとなす。

余輩は獨り韓人の覆面を責むるものに非ず日本人も亦○面して韓人に對す、殊に前統監伊藤公の如きは二面の甚だしきものたる也。之に對する韓內閣員を始め其他總ての韓人は■面して好辭の交換をなす、相互に於て腹にもなき世辭を振撒き內心窃かに敵視しつゝあるが如し。斯くして相互の眞相を解する能はざる爲に往々施政上に支障を來たすことなきに非ず。今や日韓の關係は斯の如く覆面して外交的態度を取るべき時に非ず、美醜共に露出し喜怒哀樂を公然表情して相互の意志を疏通せざる可らず、全体此覆面なるものは日露戰役の際既に取り去られべきもの也、然り當時に於ては將さに取去られんとしたるに、伊藤公が統監として來任せらるゝや盛に覆面政策を取れり而も三年有半に亘りて覆面政策を繼續したる爲に覆面は愈々厚きを加ふ、伊藤公は全く此覆面政治にて失敗し、終に引退するの止むを得ざるに至れる也。

曾禰新統監は此覆面政治に就て如何なる思考かある、新統監の明敏なる此覆面が啻に百濟の古都のみに存在するのみならず、京城は最も甚だしきを看取せられしならむ、而して韓人等に此覆面を撤せしめんとすれば先づ以て自已の覆面を除却するの至當なるをも看取する所あるべき筈也、伊藤公は此覆面政治を以て失敗せり、殷鑑遠からず新統監の多智なる再び此愚を繰返すことなかるべきを信ず、由來覆面なるものは敵國同士には時に或は必要とする場合なきに非ずと雖も、日韓兩國の間には最早全然不必要にして、之が爲に兩國の利益發展を害すること夥し、現在に於ては韓人は日本の誠意を疑ひ日本人も明に帝國の意志の存する所を語らずと云ふが如き狀態にあり、新統監は速に此覆面を除却して嚴然其新方針を明瞭にし以て韓人の■面を取り去らしむると共に、新方針を納得せしめ據る所を知らしめざる可らず、斯の如くにして始て韓國啓發の實を擧け可き也、是れ余輩が新統監に待望する所也。

東京電報

▲行賞裁可奏請　韓國討伐隊の論功行賞は本日議定官の手を經て上奏裁可を奏請したれば一兩日中には發表さるべし（二十二日午後發）

▲シンヂゲート組織計畫　清國粤漢鐵道其他の諸事業に材料を供給せん爲め澁澤男等十數名シンジゲートを組織せんとする計畫あり最近に成立すべし

▲貨物連絡交渉　東清鐵道と南滿鐵道との大貨物連絡交渉は十月末頭落着すべし（以上廿三日午後發）

外報一束

●米國憲法改正　來月二十一日を以て所得税問題議會に於て討議せらるべく其際大統領の教書中に暗示せられし如く憲法を改正して私人所得に課税するの合衆國法律を通過せしむるの問題につき表決あるべし勿論反對も起るべけれど議會は必ず憲法改正を諾すべしと信ぜらると

●露公使の抗議　露國公使は清國外務部宛照會して曰く露國臣民にして內蒙古及び兆南府に旅行するもの近來屢々支那地方官に阻碍せられ又露國の貨物に課税せらるゝは露清通商條約上に違背するもの也云々

●在清米人活動　インターナショナル銀行橫濱支店支配人グリートン氏は今週北京に支店開業の目的を以て來京し家屋捜索中なり近々來京の新米國資本家特派代表者ストレート氏の企業と相俟つて米人の活動想見せらると

●支那人の不穩　採木公司に對し不平の支那人七百餘名は十九日朝より沙河鎭の木材檢査所附近に集り喊聲を發して示威運動をなし木材の檢査を受くるものなし採木公司は狼狽せるのみ道臺よりは鎭撫のため警察隊を派遣せる由

雜報

●曾禰統監參內
既報の如く曾禰統監は村田、外波兩武官、國分佐竹兩秘書官を從へ二十三日午前十一時三十分昌德宮に參內仁政殿に於て韓皇に謁見の上新任の挨拶を述べたるが韓皇よりは勅語を賜ひ終つて仁政殿東行閣に於て統監及隨員一同へ陪食仰付られ午後一時二十五分退出歸路德壽宮へ伺候太皇帝へ謁見の上新任の挨拶を述べたり

●韓皇の詔勅
別項記載の如く曾禰統監には二十二日午前十一時二十分韓皇に謁見の際韓皇には左の勅語を賜はりたり

炎暑の處を海陸無事安着し今日相見るを得たるは朕が衷心より欣快に堪ねざる處なり今や中外の施政は漸く進境に在りと雖も尙一に貴統監の指導に俟たざる可らず朕は貴統監が克く其健康に保持して永く其位に座りて匡輔の誼を致されんことを望む

朕嚢さに伊藤公爵の辭任に當り衷心愛惜に堪ねざりしと雖貴統監が朕の敬愛する貴天皇陛下の大命を奉承して其後を襲ひ當國に莅むに至りては朕の最も欣快とする處なり

惟ふに兩國の關係は逐ふて親善、百般の政務漸く緒に就けるも前途尙遼遠なり朕は貴統監が副統監として來任三ケ年の經驗と薀蓄とを以て將來益々當國の指導扶殖に盡力せられんことを望む

●統監の謝辭
別項韓皇の勅語に對し曾禰統監は左の如き謝辭を申し上げたり

爰に貴皇帝の優渥なる勅語に對し深く感謝の意を表す

本官新に統監の大命を奉ずるに當り我が天皇は其の任務を誠實に遂行すべき旨の勅語を賜ふ本官謹んで我至尊の聖意を奉躰し任に莅む誠意誠心を以て此の任務を始終せんことを期す

●統監と道書記官
曾禰統監は二十四日午前十一時各道書記官を官邸に招き地方行政に關する一場の訓示を與へ各道書記官の意見を徴すべしと因みに各書記官は二十五日頃より夫れ〳〵歸任すべしと

●曾禰統監の獻上品　曾禰統監は二十三日參內の際韓皇韓皇后に物品を獻上されたりと

●太皇帝の祝辭贈呈　太皇帝には二十三日朝承寧府侍從長金春熙を統監邸に差遣はし祝辭を贈呈せり

●義親王の統監訪問　義親王には二十三日朝曾禰統監を官邸に訪問し祝賀の意を表したり

●觀察使會議決定　書記官の歸任と共に來月初め內部大臣は觀察使會議を召集する事に決定したりと

●宇佐川總裁の出張　宇佐川東拓總裁は驛屯土引繼終了後引繼土地の狀況及農况視察の爲め南北韓に出張すべしと

●京城民團の園遊會　伊藤公着京の上は直に曾禰統監の昇任歡迎を兼ね一大園遊會を催さん計畫にて目下民團有志に協議中なりと

●米國前副統領祝賀　二十三日午前目下入京中の米國前副統領フェーアバンクス及米國總領事サモンスの兩氏は曾禰統監を訪ひ陞任を祝せり

●米國前副統領謁見　米國前副統領フェアバンクス氏夫妻は二十三日午前十一時三十分曾禰統監に帶同され韓皇に謁見したりと

●皇室債務の訴訟　度支部財産整理局にて整理を經たる皇室債務の處分に就ては官報に依り既に決定公表したるが之れに對する各請求者の內處分の決定に不服を唱へ京城控訴院へ起訴せしもの七名にして何れも雜債務に屬する者也と

●木內次官の訓示　木內農商工部次官は二十二日道書記官を農商工部に招き一場の訓示を爲したりとのことは既報の如くなるが其趣旨は韓國貿易が常に輸入超過を爲すは産業の幼稚なるが故なるが其産業は尙綽々として開拓の余裕ありとし一々例證を擧げて訓示したりといふ

●命令航路の損失高　朝鮮政府の補助を得て沿岸航路に從事せる各滊船五月中の營業成績は何れも損失に歸したる由にて其の狀況左の如し

釜山、雄基間　五百四十六圓十七圓損失
釜山、元山間　五十五圓〇七錢同
西湖津、江陵間　百八十四圓九十五錢同
元山、雄基間　二百七十八圓七十六錢同
合計千〇六十四圓九十五錢

●京城漫畫（其十二）
旭町二丁目　木村生

玄海の鯨鯢皆聲を屛む……



●統監邸の晩餐會　二十二日夜曾禰統監は出迎の大久保軍司令官、西島師團長、各參與官及び李總理以下各大臣等約五十名を招き晩餐會を開きたるが先づ大久保軍司令官の挨拶あり一同祝辭を述べ次で李總理は陞任の祝辭を述べ一同乾盃の禮を行ひ斯くて曾禰統監より新任の挨拶ありて宴を撤したりと

●整理局の事業
度支部臨時財産整理局の事業は豫て報道せし如く驛屯土、宮庄土、京城內其他各地方に在る宅地及山林の整理にして驛屯土と宮庄土は既に全く整理を了りて國有地と爲し宅地は度支部會計課の所管に移して大体を結了したるが山林は一部分を農商工部山林局に引繼ぎ殘部を財務督監局に委任したれば目下整理局の手にあるものは別項記載の導掌と投托地の處分のみなりと

●驛屯土の引繼紛擾
東拓會社の驛屯土問題は目下度支部と立會の上にて引繼中なることは既報の如くなるが近頃双方の間に意志の衝突を來し爲めに度支部税務課長藤川利三郎氏は二十二日夜載寧へ向け急行したりといふ

●歷代殿陵の管理法　歷代の殿陵は客年之れに關する勅令の發布と同時に宮內府より內部に移したるが其際一應度支部臨時財産整理局に於て殿陵に附屬せる財産其他を調査すべき筈なりしも種々の都合の爲め今日に至りたる次第なるが度支部臨時財産整理局に於て近々調査すと

●地方費と郡衙修築　郡廳舍の廢朽に歸したるものゝ新築又は修築に要する經費は國庫より支出すべきか又は地方費より支出すべきやに就き當局者に於て種々議論ありたるが各道書記官の意見は逆も少額の地方費より之れを支出するは困難なるに依り其他より支出すべきを希望し居れば結局地方費以外に於て適當の方法に依り支出さるゝに至るべしと

●京商議員候補者（四）

森村太郎君　明治二十五年の秋君は弱冠にして靑春燃ゆるが如き希望を抱ひて渡韓し明洞に質店を開き韓人を相手に業務に精勵して居つた所で一般渡韓者の弊は空利空權に躍起として二六時中夢より夢を辿つて居るが君は一意專心自己の家業を大事に傍目もふらず働いたが之れ與に少壯實業家の好模範と云ふべきである君は山口縣出身年齡漸く而立に達せしに過ぎざるも君が多年泥硯の元老を助けて公共の爲め盡した功勞は衆人の認むる所となり今回京商議員の候補者に推撰せられたのである

小川勝平君　君は大分の出身人となり眞摯にして溫厚而も事務の才に富み、勤勉の譽高く事に當つて毫も躊躇逡巡する處がない、三十三年明治法律學校に入り業を了へて更に日本大學に遊び高等師範科を卒業して後大阪天王寺中學に教鞭を執る內三十七八年の戰役に召集され小倉聯隊に入營し同時に韓國駐劄軍司令部附を命ぜられ戰爭の終りを告ぐると共に功に依り勳七等靑色桐葉章並に一時賜金二百五十圓を下賜された、次で三十九年五月渡韓し現今の處（本町一丁目）に特許訴訟代理及仲介業を開始せしが性來の勤勉と溫厚とは日を經るに從つて世人の信用と好評とを博し現今では殆んど氏の名を知らぬものはない、君常に意を公共事業に注ぎ特に韓國赤十字社の爲めには骨身を惜まず盡瘁して居る、蓋し好個の事務家たるを失はぬ君は又代書業組合長をも兼ねて居る

●導掌と投托地　導掌とは宮に屬する土地の管理權を有するものゝ謂にて是等の者の有する管理權は一の財産として取扱はれたるものなれば皇室所屬の土地が今日の如く國有に移されたる後は最早必要なきものなれば度支部より之れに賠償金を支拂ふ筈にて來月中には調査終了すべしと、而して投托地とは昔時韓國上流の士が權力爭奪の烈しき時に當りて下層の人民は其の所有せる土地を掠奪せらるゝを恐れ上流者に其名義を借りたるものにて今は之れを其本人に返還するの處分を調査中にて關係最も廣きが故に容易に結了せずと云ふ

●前副統領の動靜　米國前副統領フェアバンクス氏夫妻は米國總領事サモンス氏、菱田統監府囑託と同道二十一日午前九時三十分軍司令部を訪問し夫れより東大門內工業傳習所及大韓醫院を參觀同十一時五十分歸館せるが午後三時三十分米國總領事館に於ける宴會に臨み七時統監邸の招宴に赴き十時歸館したるが尙工業傳習所よりは製作品二點を贈れりと

●租税負擔額の比較　韓國民が負擔する直接國税の總高は八百八十七萬〇五百二十七圓十三錢三厘にして一戶當三圓八十錢二厘一人當九十錢七厘なるが韓全國の戶數は二百三十三万三千〇八十七戶人口九百七十八萬　千六百七十一人にて這は光武十年に於ける警察署の調査に係るものなり而して日本にては明治三十九年の調査に於て直接國税總額三億四千百十三万五千四百三十六圓九十九錢九厘一戶當三十七圓九十七錢二厘一人當高七十九錢七厘戶數八百九十八萬三千八百三十九戶にて人口五千〇十八萬八千八百十二人にして千分の三八九なりと云ふ

●南韓漁場の調査　東洋拓殖會社の西島技師は南韓沿岸に於ける漁場調査のため群山を經て木浦方面に赴きたる由なるが其後着々調査を終へ目下馬山浦附近調査中

●東萊輕便鐵道出願　釜山鎭、東萊間に輕便鐵道敷設は愈々資本金十萬圓にて二千株名稱を釜山軌道株式會社とし二十一日發起人は理事廳を經て內部大臣へ出願せりと

●郡主事の秘園拜觀　新任郡主事約三十名は二十三日午後一時より昌德宮內秘園を拜觀したり

●俵學部次官歸任期　目下東上中の俵學部次官は二十四日午後東京發歸任の途に就く筈なれば二十七日頃歸京すべしと云ふ

●十三聯隊發火演習　十三聯隊にては廿三日より廿五日迄三日間第二期檢閲の爲め龍山練兵場に於て晝夜實彈發火演習をなす

●學部廳員の親睦會　學部本廳及び各學校へ多數の新任者あるを以て新舊相會し親睦を計る爲め俵次官歸任の後同氏を招待し掬翠樓にて親睦會を開くべしと

●民長の統監府訪問　熊谷民長は廿三日統監府を訪問し民團を代表して統監陞任の祝辭を述べかねて民團の催にかゝる統監迎送の園遊會準備に付て協議する處ありたり

●ハリス博士平壤行　ハリス博士は平壤耶蘇總會へ列席の爲め宣敎師並に耶蘇學校生徒五十名と共に二十三日午前同地へ向け出發せりと

●キリウル氏汶山浦行　露國敎會堂僧侶キリウル氏及韓人洪羨緯は二十一日汶山浦に出張即日歸京せり

●山本朝日子の移轉　大阪朝日新聞京城支局の山本光三氏は二十三日南山町十丁目十五番戶商業會議所東隣へ移轉したりと

公人私人

▲飯田章（京畿道警察部長）二十二日入京
▲不知火
▲和田維四郎（平壤鑛業所顧問）同日入京
▲天眞樓
▲林文太郎（同　所長）同日入京同上
▲倉長恕（中外通信社員）同日入京[illegible]

近事片々

▲新統監入京して漢城の寂寞を破る是よりは衆目矚新施設の上に集る請ふ英斷なれ
▲伊藤公も近きに來らむ然らば更に漢城を賑はす可し茲過渡時代人心聊か新ならむ
▲此所暫らくは個別の宴にて持切らむ新施政の三番叟は何時頃なるべき長篇は異平
▲曾禰統監の談片として傳はる所に依れば統監府は日韓人に對して一視同仁なりと
▲苟も施政に妨害を與ふるものあらば日韓人を問はず毫も假借せず處分せんと穴怖し
▲南北韓沿岸視察にて日本人は拘束せざれば意外に發展すべきを知得たりとは眞乎
▲然り官憲の拘束なくんば十年以前に對韓問題は解決したらん曾禰子の觀察適切也
▲自由に開放せば韓國にも滿洲にも百の山田長政百の錢屋五兵衞は入り込み來らむ
▲在留邦人に對しては實際寛大の處置を取るを要す杓子定規を以て律するは不可也
▲官憲の杓子定規は開國進取の皇謨に悖る在外自國民は全く國家膨脹の精華と知れ
△山路愛山曰く韓人百病の源は其半島の位置に有他國の侵犯を免れざる境界に有と
▲韓人が日人と同胞一氣にて氣力文明一も相類するなきも是に因るとは一種の觀察
▲韓人にして國境を憂へず事大根性を除くを得ば新羅高麗以上優等の人民たらんと
▲愛山君何に感ずつてか頻に韓人を讃め出した而も決して侮る人民に非ずと稱揚す
▲神に關する傳說も同一也日韓兩國の交情を親密にする道は此智識にありと獨斷す
▲今後數千年の後はいざ知らず現時に於ては韓人は愛山君の見る如き人民にあらず
▲眞に日韓兩國の利益を思はゞ韓人をして宗主國たる日本を尊重せしむるが最肝要
▲祖國警察官の腐敗は近時甚だしとの事にて警察官廓淸は今や輿論となりつゝあり
▲是が廓淸を計ると共に其待遇を改善するの必要あり是れ有爲の士を招く所以に候
▲[illegible]式　都の九百年忌を京都若[illegible]會は大[illegible]

●蒙古の輸出産物　貿易に付いては近來内外の注目を惹起[illegible]
[illegible]は北滿州よりは寛城子に至るまで悉く東部[illegible]
[illegible]上の實益に存せざるとは之を推測し得べし[illegible]
●[illegible]南の製糸奨勵
[illegible]回内地より技師一名を聘傭し約三箇月の豫[illegible]
[illegible]もの約二百名程ありと云ふ
●大田の三税反對
[illegible]なるが今回韓國政府より三税を賦課するに[illegible]

第143호 1909. 6. 24.

●蒙古の輸出産物

貿易に付いては近來内外の注目を惹起し…(以下判読困難)…は北滿州…より寛城子に至るまで悉く東部…にも係はらず同鐵道によつて…時露國は同地の…黑龍沿…微地方に…個人の像想せる如く多からず現に東清鐵道…の希望は罪に卑近なる産業…糸器械十數臺の配付を受けたるが…

●…南の製糸奬勵

▲相談の相談▼
(何んでも御相談に應じ升)

◎問● 再び記者閣下に望む官途に就職し俸給生活にも色々有り莫大なる俸給を望む者名譽を以て就職する者あり然れど小生は高給を望み名譽を望むにあらず其の奉公心を國家に充滿させんが爲めなり然れど前記の通りの無學なれば官途就職を駄目と御認定さるりも御最の次第なり然らば如何なる職に就職なすを小生の身に相當と御認定なさるや斯る事御相談なせば定めて意志薄弱、男子にして男子に非ずと御冷笑なさらん然し一を聞けば其れ丈け智識の發達とならん冀くは記者閣下今一度右御相談御返答を願ひ上げます(老給仕)

◎答● 能く胸に落ち入る迄御尋ね下さい決して五月蠅とは思ひません私の方では私共の返答に依つて幾分なりとも貴君方の御參考になれば夫れが即ち滿足なのですから、其處で、先日の答へをモ一度御玩味下さい私は貴君は官途就職に斷念なさいとは申しませんでしたよ現在の學力程度では不可ないから勉强をなさいと申したのである、其の勉强の方法も先づ己れの翻はんとする所を定めて、例令は警察官なり司獄官なり裁判官なり通信官署へなり鐵道官署へなり其の他何れへなり自己の好む――就かんとする方面に必要なる學科を學ぶことが必要です實業に從事するにしても夫れに必要なる學科と云ふものはあります、露骨に申せば初め調劑師たらんとして三十七八年の戰役に海軍々人の世人に持てはやさるゝ一時の異氣に初志を拋ち健康の故障の爲め再び其志望を拋ち(據ろなくでもあらんが)渡韓して給仕になられて僅か滿一歲を經過するやせざるに此れも又思はしからずとして此職をも去らんかと考へらるゝ何にを致したからとて然う然う思はしい事のあるもでのない一事が萬事此調子では失禮ながら大成するにしても遲い、偶々異例はあるにしても勇往精進は成功の秘訣である、事に熱心ならずして何時も心がフワ〳〵して居ては駄目です、私を以てすれば現職に忠實なると同時に目的に從つて御勉强なさつて登龍門に入るの素地を作らるゝが必要です、如何なる手藝があつても實力のない昇進は決して永續するもので御座いません、年齡も未だ廿二、前途は遼遠です、急かず慌てず御勉强なさい、決して遲くはありません何は能くれ解りにありませねばれ尋ね下さい、時候が惡い時ですから隨分御自愛が肝要です(係)

●宣教師の自殺

▲本町一丁目聖公會にて

本町一丁目聖公會主宰の宣教師英國人カトライト氏(五十六)は一昨夜十迄頃時まで書物杯を讀みて平生と何等變る事なく寢に就きしに昨朝に至り氏が臥床より起き出でざるに家人は不審を起し寢所を窺へば泰然として自死を遂げ居たりと尚ほ其死因及び方法等は頗る秘密に附せられ居れば知るに由なきも多分劇藥を仰ぎたるらしく全く絶命せしは昨日午前頃ならんと

紳士の遊興振

▲荻田悦造君

在韓官吏中に赤門出身の學士も隨分澤山あるが卒業の時に 陛下より銀時計の恩賜を受けたのは恐らく君の外には有るまい、君は伊勢國の素封家の息子で必ずしも月給を取らなければ飯が喰へぬと云ふ譯では無いのに態々高等文官試驗迄受けて役人になつた處を見ると殊更役人生活に趣味を持て居るのかも知れぬ役人としての君は未だ經驗の足りない勢か事務を扱ふ上に於ては大學に居た時の樣な成績を現はして居らぬが併し頭腦は頗る明晰で法制には中々通じて居るそうだ、元來法制家に粹人抔と云ふ者は少ないそうだが君も御多分に漏れずして居らぬ元より統監府の役人の事であれば交際に招待に樓上の人となる事は數限りがない、嵐が酒は相當に呑み得るけれども藝に至つては磯節一つサノサ節一つ否ラッパ節一つも完全に歌ふ事は出來ないそうだ元來君の聲はセン〇〇聲で到底物にならんとは糸藝妓の許である曾て君は友人某に就て端唄の「秋の夜」を三ケ月も稽古した事があるがトウ〳〵及第せずに終つた之を以て之を觀れば將來とても君が大學を優等で卒業した如く樓上學校は到底優等で卒業する事は出來まい

次は宇佐川東拓總裁

●妻子を捨て行衛不明

▲元大邱會議所書記長

元大邱商業會議所書記長たりし井上宗之助は曩に同地達城公園期成同盟會の公金を誤魔化し刑事訴追に附せられし儘行衛を晦ましたるが同人は郷里大坂府下中河内郡八尾字八尾町に妻はる及び小供壹人を遺し置きたるが宗之助は爾來送金せざるのみか消息さへ爲さゞるにぞはるは小供を連れて親戚の厄介になり居るも夫の行衛を案じ昨日南部署へ搜索願を郵送し來りたり其文面にては京城に潜伏爲し居る趣きなるが宗之助が罪を犯したる事は露知らぬ妻女が夫を思ふ心底推しやられて憐れなり

●毆つて毆らる

仁川京町派出所…昨日午前一時頃支那人黃布臣(四十)と云ふが日本人竹中治郞吉に毆打せられ着物破ぶられたりと訴へたれば双方召喚の上取調べたる所竹田の履ひ居る韓キョンガを責が毆打したことを見て竹田が前記支那人を毆り飛ばしたること判明したれば双方共說諭の上放還さる

●女房の雲隱れ

京仁線富平驛間組出張所内森田利吉妻トヨノ(三二)は去る十七日午前十時頃病氣診察を請ふ爲に夫利吉の衣類調達の爲め仁川に赴き同地寺町居住の知人松尾雜貨店に一泊し翌十八日午前の列車にて京城に來り北米倉町の知人某宅に潜伏し居たるを利吉の願出に依り南部署に召喚して說諭之上本夫へ引渡せり

●水も飮めない

仁川寺町二丁目柴田福太郎は韓人許璣に水代一圓五十錢を支拂はざりしかば警官に說諭せられ韓國では水も迂濶にや飮めねなど啣きつゝ引取

●料理屋のお灸

若草町一丁目料理店營業福岡たか(三七)は去る十九日夜遊客岩崎辰次郎及矢竹又一の兩名を宿泊せしめたる事を發見され料理店取締規則違反として昨日所轄署にて各科料金一圓五十錢に

●河豚會た報ひ

仁川居住の熊本縣生れの吉鶴紋藏は河豚を齊らんとして一昨日警官に說諭を喰はされたりとか何にして河豚に說諭は餘り宜くない食ひ合せなり

●酒故に舊惡露現

明治町二丁目池德次郎方同居無職北村宗一(二七)は昨日午前四時頃大和町三丁目道路に醉倒れ居たるを巡行中なる巡査に保護せられ南部署に連行かれたる處同人は本町一丁目久保田金次郎方從屋中本年三月廿七日集金四百圓を拐帶逃亡せしも其詫びを入れて再び同家に歸りしも一週間程以前に解雇されたる者にて目頭不身持極まる男なりと

●盜賊の行り損ね

南部河瀬五號十二戸朴非昇(三七)は一昨日午前十時頃櫻井町八十四番戸の七矢野善夫方に隣家の屋根傳ひに侵入せしを家族の者に發見されて逃走中矢野の爲め捕はれ其筋に突出さる

●端午の敷島

一昨夜の仁川敷島遊廓は非常なる賑ひにて登樓客は平日の倍以上九十七人の多きに登り揚高も四百三十圓あり

家庭料理

●本日のお總菜 豆腐をくずして鍋に水を注ぎ火にかけるのです鍋の廻りから細かき豆腐のくずれがうき上るのをさまして布巾の中へ布巾をしいた上から此ゆでた豆腐を入れ布巾の四隅からつゝんで輕く鍋蓋でおしをして一時間も置くのです夫から鍋へ此豆腐と玉子を入れてよく細かに豆腐をつぶしながらまぜましたら此鍋を火にかけ箸でたわすかきまはしてこげつかないやうにす

▲京城の小料理屋の多くは皆遊げ腰で夫々遠征を企て居る(通人)▲大和町に出來た洋人のチャブ屋は前西小門通りに居たのと同一人ですか(何生)▲確かには知りませんが然うでしようよ(小僧)▲旭町の素人相撲は中々面白いが呼び出し奴が一寸上等だと思ふ(見物の一人)▲敢て芝居と云はず總て人寄せ場に見せても聽かせても分らん樣な幼い小供を連れて行くことは唯に他人の迷惑になる許りでなく小供の爲めにも善くない過日も歌舞伎座で小兒が倦きて泣き喚くのに口を塞いで夢中になつて見物して居た妻君を見た甚だしき幼兒虐待である現在の寶子でさへ夫れだもの子守りなぞに小兒を附けて見物に行くことは遠慮なさるこそですね(注意生)▲去る十八日の晩新町南山樓の女郞部屋のシキイに顯ての せ眺ども何んだも分らん恰然唐人の寢言見たいな事を云ふて居た奴は何處の何奴だ(配達)▲僕の宅の前の家の下女の情夫だ相ながら毎晩口笛を吹いたり何かして其下女を呼び出しに來る奴がある廿日の夜なぞは八時半から來て十一時頃まで彼方へ行つたり此方へ來たりして居たが其晩は遂々下女が居なかつた爲か鎖々歸つて行つた(一伍一什を見屆けた僕は失笑を禁じ得なかつた(旭町生)▲君の方が餘程可笑しい先方の奴は目的がある眺めて居た君は時間を空費したのみで目的がない目的があつての失敗は意とするに足らぬではないか、笑ふ貴樣が可笑い(小僧)▲旭町電報通信社の小僧チョンガー辨に日本語が少々分るぞ思つて餘り横着過ぎるぞ野郞僕るぞ(鳩の子)▲南山洗心亭の附近に在る南山ビヤホールには異樣なる若い娘が四五人居るが實に怪しいもん

…るのですこれは豆腐…水氣をきる方法なのですこうしてかきまはして居る内に水氣がすつかりきれてぱら〳〵といふやうな工合になりましたら此中へ煮出しと砂糖を入れこれを又ぱら〳〵になるやうになるまで此中へ醬油をさして火の上から鍋をどるのです 此分量は豆腐が二個について玉子が二個煮出しが一合五勺砂糖が廿五匁醬油がかろく四勺位でよろしう御座いましよう

▲金が欲しい、此の頃夫(惚れ生)▲僕も欲しい君だナア(欲張生)▲切に感じたのかさすれば此の頃初めて夫れを感じたのか一日の長あり可々(小僧)

●大田の三税反對

…云ふ…今回韓國政府より三税を賦課するに決し…負擔する事となりたるを…民總代工藤…同誹議員内…反對…

●天氣豫報 南西の風晴後曇

(自廿三日午後六時至廿四日午後六時)(華氏)

廿二日 最高温度 八四、四 最低温度 五九、九

廣 告

●悲慘の種

大に世人の注意を要す

癩病は交際の花にて癩病の味を知らぬ者は一人前の資格なしと云ふ人あり甚だ極端に聞ゆるも實際癩病が世上一般に大流行を極めつゝある事實を證明した言である何故に癩病の大流行を見るや其原因は取査する爲め學者が種々に研究をした所が專門の大學ウエルドハイム博士の實驗が頗る要領を得たもので慢性癩病、男子の膿を取りて健全な他の男子に移殖して見た所が急性の癩病を起した其急性癩病を起した所の膿を再び始の慢性癩病の男子に植ゑて見た所が慢性の癩病が急に急性の癩病を起しました夫れは精膜の深部に潜伏する病毒が一たび他人の粘膜に移植する時は生活力を回復して新に癩病を喚起し我又再び之に感染して循環極りなき理で癩病が漸々と蔓延する事が愈々判かる左れば惡遊する男子及數多の嫖客に接したる交際繁き良人を持つ婦人等はウェルドハイム博士の實驗を實地に行ふ人々なれば自ら癩毒の循環作用を試ける譯で其危險狀態は絶對であるから被害に適良の藥劑を用ひて癩毒を驅除する必要を忘る可らず又梅毒は初め毛毯の疹が基で種々の難症を誘起し慢性の腦病脊髓病精神病等も梅毒の經歷ある人に多く發生し醫家の治療術にも何うも診斷の附かぬ病人に必ず一度は梅毒の療法を試みよと云ふ事がある位なれば梅毒病は臨床醫學の見地より深く實地に臨み親切に考慮したる藥劑でなくては斷じて眞正に根治する事が不可能である凡そ梅毒麻病を根本的に治療するには必ず唯一丸を用ゆべし唯一丸は彼獨逸の病源體を發見して有名なる獨逸の大家ホフマン博士の處方に則り其の主藥(原料)は現世に於ける唯一の驅毒藥として醫學者に最とも尊重せらるゝ藥劑なれば梅毒には身體内に蓄積する病毒の作用を中和し不純の成分を血液及組織内より驅除するの特効あり癩病に内服せば化學的作用にて必ず癩毒の死滅すべき成分となりて小便と共に排泄するもの故自然の洗滌法となりて癩毒を根治する事明かなり依て其病症の輕きは一二週間より重くも一ケ月程にて拭ふが如く根治す故に有毒の人は速に唯一丸を試よ面白き程効力あるべし

●注意妻妾ある人は自己の治療を行ふと共に妻妾の治療を忽にすべからず自己は一旦全治するも未治の妻妾と同衾する爲め更に其梅毒を感受することあり依て妻妾の健康を恢復せさる限は如何に男子を治療する

●眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せさる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

各種 洗濯石鹼 專門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用
京城旭町二丁目 (電話九七三番)
朝日石鹼製造所

▲無料紹介欄▼

人事部
●賣子募集 廿歳以上の男子六名入用 旭町一の六〇 旭町勸賣所(二八〇)
●被雇度 當年廿五永年大阪にて商業に從事す 店飾りの心得あり給料不望確實保證人あり 氏名在社(二八三)
●求妻 八年齡廿歳より廿六歳迄位にして品行方正身体强健なるもの男三十歳には統類なし月收六十圓 氏名在社(二八七)
●正派薩摩琵琶研究會 授教希望の方は申込あれ 京城壽町一 一八番戸 會主 有馬良熊(二八八)

物件部
●土地賣物 數十個家屋賣物澤山あり 本町民團役所前 佐々木
●貸家 京畿道利川郡利川に諸營業に適當の家屋あり地所共に金二百圓にて賣却す 京城三角町三 山内(二八二)
コースター付上等自轉車中古格安に賣却しなし 氏名在社(二八六)

廣告
仁川港
釀造元 大森酒場
銘酒 雪の松 盛の花

韓國一手發賣元
京城川の出町一丁目
永島商行
(電話架設中)

移轉廣告
今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉す
南大門外御成町紅葉舘跡
(茂呂運送店前)
開通 戸田病院 電話九三八番

明治町二丁目七十五番戸
辯護士 岩田仙宗
電話三五四番

●●花菖蒲●●
數年來培養の花菖蒲今將に開花追々見頃に御座候何卒御來觀の程奉願候敬白
六月廿日
京城東四軒町清水谷
百花園 (寶六庵隣)

名譽銀牌受領
キリンビール

病室完備 入院隨意
移轉廣告
從來の向ヘ(元韓城新聞社跡)移轉す
十全病院 電話七三七番

支店開設披露
今回左記の所へ支店開設致し候に付開業披露として左の如く割引販賣候條御懇命願上候
自本月十五日 至八月十四日 六十日間
掛置時計懷中時計一切 正價より一割五分引
外に貴金屬附屬品に限り正價より五分引
京城本町二丁目
時計自轉車小賣部 喜多金光堂支店 (電話架設中)
仁川本町三丁目
時計自轉車卸部 喜多金光堂本店 (電話七百五番)

サッポロビール
アサヒビール

入院隨意
諸般の設備を改善して一般診療に從事す
内科小兒科部長院長 安藤一郎
皮膚病花柳病外科部長 醫學士 鶴田善重
産科婦人科部長 醫學士 山添喜代藏
耳鼻咽喉科部長 石田誠
診療時間每日自八時至後二時(但日曜大祭日休業)
京城明治町一丁目
電話十二番
漢城病院

明治廿年七月創立
東京火災 海上運送 保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代理店 本町四 山口呉服店 電話九
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
(電話四百十三番)

胃膓消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン
蛋白脂肪消化 ヂゲスチン
錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢
散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢
散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最近内地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絶品にして所謂賣藥には無之候 各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

寫眞養成所新設
志望者は六月三十日迄に申込アレ 郵券封入アレバ規則書進呈ス
龍山元町三丁目 電話參弐番
芦谷寫美館

移轉第二回大賣出
●六月廿一日より卅日まで 正札より六步引
●弊店特賣 本年初賣出しにつき特に 一割五步引の破格メチヤく
關戸かや
●兒切品 澤山オマス
關戸蚊張株式會社韓國代理店
京城本町一丁目憲兵隊前

●かや、わた、ふとん調進仕候
太物商 ㊇ 桑原支店
電話四八三番

開業御披露
本町二丁目本町座跡
ビヤホール共樂園
庭園の閑雅なる器具の清潔なる待遇の懇切なる價格の低廉なるは共に我園の誇とする所なり

鴨緑江製材
各種板類一切 及小割類種々
右今回弊店に於て販賣開始仕候間續々御用命被仰付度先分大勉强御高需に應可申候
京城本町四丁目
烟上支店 山本村太郎

内外科、眼科 花柳病科 (入院隨意)
本町六丁目五十番戸
瀧澤醫院
(電話七二一番)

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
各學校御用品調達
委託販賣
東京 ランバーグ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

牛馬犬豚 治療所 (入院隨意)
京城明治町三丁目(電話四二七番)
小川家畜病院
獸醫 小川龜太郎

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸橫小路 (元花屋跡)
▲懇切の下宿▼
かめ屋

高等會席 御披露
冷ビール付
御一人前一圓
明治町三丁目(東拓會社下隣)
力

大勉强 改良御料理
御一人前 金十五錢均一
御酒御肴 二三品
西小門通り
東京樓

東洋總代理店
實用石鹼 アイボリー
大阪京城支店
電話 四〇番

待合

日本郵船株式會社
仁川滊船出帆廣告
仁川海岸通
貨物及船客取扱店
郡回漕店
電話三九番
●釜山長崎門司神戸行 山東丸 七月四日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 七月一日正午時出
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 六月日午前十時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 月日
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金卅五錢 ▲三ヶ月前金
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一圓五十錢 ▲六ヶ月前金貳圓 ▲郵稅一ヶ月金
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木太
發行所 京城南大門通 京城新報社
電話六三番